

平成22年 9月分

小瀬川出張所管内 村本 さん

観察月日 連絡事項等

9月3日

・穂仁原小学校の児童と、学校の前の小瀬川で国交省太田川河川事務所の職員さん等と、水生生物調査を実施した。
 開始1時間前に現地に到着し、弁当を食べながら周りを見ていると、突然ヤマセミが飛び立ち水面上を上流へ駆け抜けた。写真は撮れず残念！ しばらくすると対岸にカルガモの親子が泳いでいるのを発見しました。(写真-1)
 この素晴らしい環境を今後共そっと見守って行きたい。

9月14日

・久しぶりに明け方、和木側の河口をパトロールした。
 美しい干潟に朝日が輝き始め、これも素晴らしい眺め。(写真-2)しかし、工場の辺りに来ると、やはり油の臭いがしてくる。一度壊した環境は、戻すのに何年もかける必要があることを痛感させられる。
 ・河口付近の川へ降りる階段部分は、今回もゴミの山。
 その殆どは、清涼飲料水や酒類の空き缶やボトル、家庭ごみなど。モラルアップが望まれる。(写真-3)
 ・最先端の工場入り口の看板。左下隅の部分がめくれかけています。何か引っ掛けた感じ。(写真-4)
 ・山陽線上流COD測定9月15日14:00 8 ppm ↑。
 以上

写真-1 カルガモの親子

写真-2 夜明けの小瀬川河口

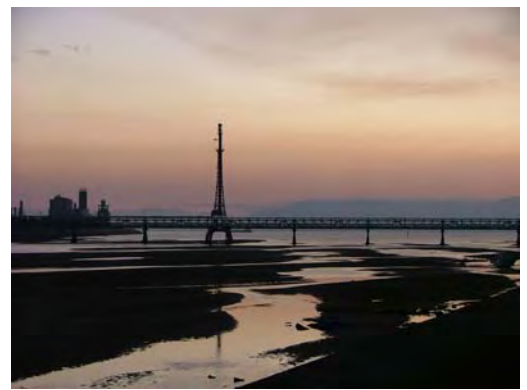
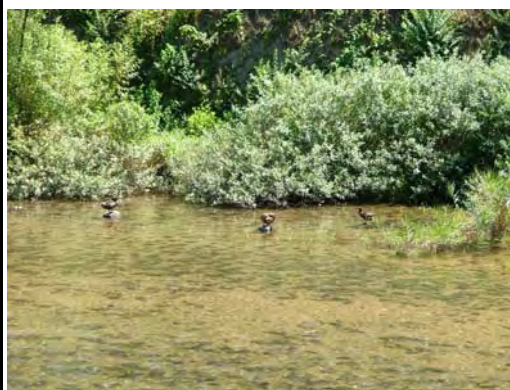


写真-3 階段下のペットボトルごみ看板

写真-4 河口先端のめくれかかった



管理第一課からの意見・感想等

貴重なご意見及び情報をいつも頂き有り難うございます。
河口付近のゴミは、ペットボトルの他に花火やVHSテープ等が見られ、ゴミの不法投棄は、当方としても非常に頭が痛い問題です。皆様のモラルの向上を図るべく、“ゴミマップ”を作成し啓発活動を続けて参る所存です。
ヤマセミやカルガモの親子などが見られる今ある自然を絶やさず、人にとっても動植物にとってもより良い河川環境を次の世代に残したいものです。
CODの測定値が8以上であったと報告がありましたが、通常値は2前後であり測定時の方法について教えて下さい。パックテストのチューブに河川水を半分程度入れて、中の試薬が溶ける程度に振って5分放置すれば良いのですが、振りつづけると高い値を示します。また、河川水を多く入れた場合、CODは高めになり、少ないと低い値になります。また、塩化物イオンも酸化しCOD値を高くするため、海水を含む水での測定はさけた方が良いでしょう。中市堰上流での測定をお願いします。
また情報をよろしくお願い致します。